

2024 年度通常総会資料-5 (参考資料)

デジタルアーカイブ学会 2024 年度第 1 回理事会 議事要旨

開催日時：2024 年 6 月 11 日 (月) 10:00-12:00

開催方法：オンライン (Zoom)

出席者：

会長：吉見

理事：荒木 生貝 井上 太下 加藤 北本 黒橋 後藤 柴野 数藤 平良 谷川

田良島 東 福井 福島 前川 松山 水島 宮本 柳 山川 吉川

監事：城田

事務局：池田

<審議事項>

1. 2024 年度第 1 回通信総会の実施 (田良島) →承認された
2. 2023 年度事業報告案の承認 (田良島) →承認された
 - 説明
 - 事業報告の形式を簡素化した。
3. 2023 年度決算案の承認 (太下) →承認された
 - 説明
 - 会計処理の方式を変更した。学会としての性格、運営の規模、実態を考慮して、公認会計士の意見も聴取し、単式簿記に改めることとした。
 - 上記に伴い、2023 年度段階の未収会費を経費として処理した。
 - 事務局運営体制の変更によって、外部委託が生じ、支出増加の要因となっている。
 - 意見
 - 収支の状況が見えづらいという点は、以前からの課題となっており、今回明確化したものである。
 - 今年度以降、収支バランスは確保できるか
→事務委託経費は必要となってくるので、その点の対処は必要となる
→学会誌査読システム導入の初期費用が一時的な増加要因の一つである。
 - 監事から、適切に会計が処理されている旨の報告があった。
4. 2024 年度予算案の決定 (太下) →承認
 - 説明
 - 収入増を図る必要があり、大会参加費を見直した予算とした。
 - 委託内容の見直しなど、経費の削減を併せて進めたい。
 - 意見

- 活動は年々活発化しているため、支出の増加は必須と思われる。
 - 学生、若手の負担を考慮した上で、さらに大会参加費の見直しの必要がある。
 - 一予算案を修正の上、承認することとした。
5. 能登半島地震 DA への学会としての取組（柳）→承認された
- 説明
 - 石川県庁の担当者と協議した結果、学会から専門的な知見の提供と先進的デジタルアーカイブの取り組みなどで協力したい。渡邊理事が担当する。
6. ハラスメント対応について（吉見）→承認された
- 説明
 - 学会で発表した若手などに、外部から圧迫的な発言を受ける事例があり、学会として基本的な方針と対応を考える必要がある。他学会の事例も参考にしながら役員側の負担も考慮して、方法を検討したい。
 - 意見
 - 他学会の事例を見ると、技術的ルール化と大方針化に分かれているようで、小規模学会の場合、大原則を定めて事案ごとの対応を考えるのがよいのではないか。
 - 公平な組織による対応が必要と思われる。
→今後の方向性を考えるグループを作る旨、会長から意見表明があった。
7. SIG 放送アーカイブ勉強会の設置（後藤）→承認された
- 大高崇氏を主査として、2024 年度に意見交換を進め、2025 年度にはシンポジウム等、何らかの企画を実施したい。
8. 入退会者承認（田良島）→ 承認された

<報告事項>

- 第 9 回研究大会（11/1-2）準備状況（柳）
 - ・プログラムが確定した。
- 地域アーカイブ部会長の交代（宮本）→ 宮本理事から前川理事に交代した。
- 第 4 回 DA フォーラムの延期（加藤）
 - 6 月 23 日（日）から 7 月 21 日（日）に変更。発表応募日程等も併せて変更する。
- 博物館 DA シンポジウムの開催（6/6）（数藤）
 - 200 名以上の参加があり、アンケートも非会員からの反応が多かった。今後、継続した企画が期待されていると思われる。
- 人材養成・活用委員会中間報告会の開催（井上）

- シンポジウム「デジタルアーカイブを作る人になるには？」
 - 8月1日(木) 19:00-21:00 オンライン開催の予定
- SIGの現状と今期の活動(後藤)
 - 「SIG申し合わせ事項」の改訂(主に文言の整理)の提起があった。
 - →理事会として審議事項と判断し、改訂を了承した。
 - SIGの設立、継続承認について、手続きや運営実態の確認、告知方法等を明確化する必要がある。
 - →会長から、今後検討の体制を作る旨の意見表明があった。
- 各部会、学会誌編集委員会等活動報告(各担当理事)
- 会員現況(田良島)